

## 令和6年度 学校努力点

## 子どもたちが主体的に学ぶ授業を目指して ～「解きたい」「考えてみたい」を大切に～

### 1 主題設定の理由

「自分たちで解決したい」「この問題について考えてみたい」というように、主体的に学ぶことができる子どもを育てていきたい。本校の子どもたちは、地域の人や職員に対して元気に挨拶をしたり、親しみ深い態度で接したりする姿が多く見られる。また、令和3年度から3年間、研究主題に迫るための実践を通して、子どもたちが「友達と一緒に勉強するのは楽しい」というように「学び合い」の良さを実感できるようになってきたり、自分が試してみたい解き方や自分の学習理解度に応じた問題を選択したりして、「自分に合った学び方」を行うことができるようになってきた。このことは、令和5年9月に示された「ナゴヤ学びのコンパス」の中において重視したい学びとされているや「自分に合ったペースや方法で学ぶ」や「多様な人と学び合う」という考え方に即している。授業では、「めあて」と「振り返り」を子ども中心で選択することができるような機会を与えたり、授業の中で子ども同士の対話を取り入れたりする。

令和6年度は、昨年度まで算数科の学習を通して培ってきた主体的に学習に取り組もうとする素地を他教科に汎用できるようにしていきたい。これまで積み上げてきたことを生かし、「教師主導による授業展開」ではなく、「子どもに任せる授業展開」を様々な教科で行うことができるようにしていきたい。それにより、受動的な態度で学習に取り組むのではなく、子ども自身が自分にとって必要だと思う学習に能動的に取り組むことができるように支援していく。

### 2 今年度の学習予定

#### 実践の柱

#### (1)「基礎学タイム」

- ・ キュビナを用いて、一人一人に応じた学習課題への取り組み
- ・ 学習プリント、ドリルなどを利用した学習



#### (2)「授業実践」

- ・ 子ども主体の授業「ナゴヤ学びのコンパス」を中心に。
- ・ ICT活用
- ・ 本時や単元全体を通した学習問題を設定するための場の工夫（導入の工夫）
- ・ 自分の考えを広めたり深めたりするための場の工夫（学び合い活動の工夫）
- ・ 新たな学習課題（問い）をもつための場の工夫（振り返り活動の工夫）
- ・ 新たな学習課題に取り組むことができる場の工夫（支援・関わりの工夫）



**子どもたちが主体的に学ぶ！！**

本校では、令和6年度から「ナゴヤ学びのコンパス」を基に、新しい教育を実施しております。

*Don't dwell on the past! ~過去は問わない!~*